

文法説明

この課で学ぶ表現は、そのまま自己紹介に使うことができます。ですから、何度も聞いて、そのまま覚えてしまいましょう。自己紹介をするにあたって、気をつけるべきことをいくつか記しておきます。

自己紹介のしかた

南アジアの人と話をする場合、相手が信仰する宗教が何かに注意を払う必要があります。相手の名前や服装などから信仰する宗教がわかる場合もありますが、そうでない場合も少なくありません。そのときには、*ādāb`arz* というあいさつをするのが無難です。パキスタンでは、総人口の **97%** がムスリム(イスラーム教徒)なので、ほとんどの場合、*assalām`alaikum* というあいさつを用います。

順序としては、まずあいさつをします。握手を求められる場合や肩を抱き合うこともあります。相手がムスリムである場合、同性同士ではこういう仕草をよくしますが、異性の場合には一般には握手もしません。

あいさつが終われば、初対面の場合、名前を言い、尋ねます。ウルドゥー語で話すと、南アジアの人々は、好奇心いっぱいいろいろなことを尋ねてくることと思います。日本人がまさかウルドゥー語で話してくれるとは思わないからです。機会があるごとに、自分が知っている単語を並べて話し、聞く練習をしてみましょう。

名前を言う、尋ねる

自分の名前を名乗る場合には、*mērā nām ○○ hai* という表現や、単純に *main ○○ hūñ* を用います。これ以外にも表現方法はありますが、まずはこの言い方を身につけましょう。男女ともに共通の言い方です。○○の部分フルネームを言ってもかまいませんし、自分が呼ばれたい部分だけを言ってもかまいません。

相手の名前を尋ねる場合も、*āp ka nām kyā hai* という表現が一番よく用いられます。なお、*āp kaun haiñ* という表現もよく用いられます。

南アジアの人々の名前は、その人が信仰する宗教や、出身地、場合によっては職業なども明らかにすることがあります。ですから、中にはフルネームを言いたがらない人がいることも、頭の片隅に置いておくといいでしょう。

ウルドゥー語の名詞

1. 一般名詞

ウルドゥー語の名詞は、2種類に分類されます。本コースではそれを、「男性名詞」と「女性名詞」と呼ぶことにします。たとえば、「お兄さん」という単語が男性名詞に、「おばあさん」という単語が女性名詞に分類されるということは、理解できると思います。しかし、「家」や「手」が男性名詞に、「机」や「いす」が女性名詞に分類されるということは、その理由を考えても答は見つからないため、1つ1つ覚える以外に方法はありません。

数えられる名詞は、単数形と複数形の2つの形を持ちます。また、主格と従格、呼格という3つの格を持ちます。主格は文中で主語になる場合の形、従格はそのあとに後置詞が来る場合

の形とを考えてください。また、呼格は文字どおり、呼びかける場合に用います。後置詞については、こちらで説明します。

では、実際に名詞がどのような変化をするのか具体例を見てみましょう。

1. 1 男性名詞

1. 1. 1 語尾が ā で終わる男性名詞

男性名詞に分類されるものの多くは、その主格単数形語尾が ā という音で終わります。

ā は、ا یا آ という文字で表記されます。ここでは、こうした単語の変化をみていきましょう。

例) لڑکا larḳā (少年)、بچے baccā (子供)

	主格	後置格	呼格
単数	لڑکا	لڑکے	اے لڑکے
	larḳā	larḳē	ē larḳē
複数	لڑکے	لڑکوں	اے لڑکو
	larḳē	larḳōṅ	ē larḳō
	主格	後置格	呼格
単数	بچے	بچے	اے بچے
	baccā	Baccē	ē baccē
複数	بچے	بچوں	اے بچو
	baccē	baccōṅ	ē baccō

具体例を挙げてみましょう。

(ye larḳā jāpānī hai) - یہ لڑکا جاپانی ہے۔

この少年は、日本人です。

(vō larḳē pākistānī hain) - وہ لڑکے پاکستانی ہیں۔

あの少年たちは、パキスタン人です。

(us larḳē ka nām kyā hai) - اس لڑکے کا نام کیا ہے؟

あの少年の名前は何ですか？

ہم ان لڑکوں کے ساتھ پاکستان جاتے ہیں (ham un larḳōṅ ke sāt^h pākistān jātē haiṅ)

私たちは、あの少年たちとパキスタンへ行きます。

1. 1. 2 語尾が ā 以外で終わる男性名詞

語尾が a 以外で終わる男性名詞は、以下の例が示すとおり、格による変化が少し異なります。語尾が a で終わる男性名詞よりも、格・数による変化が単純になっています。

例) گھر g^har(家)、ہاتھی hāt^hī(ゾウ)

	主格	後置格	呼格
単数	گھر	گھر	اے گھر
	g ^h ar	g ^h ar	ē g ^h ar
複数	گھر	گھروں	اے گھرو
	g ^h ar	g ^h arōṅ	ē g ^h arō

	主格	後置格	呼格
単数	ہاتھی	ہاتھی	اے ہاتھی
	hāt ^h ī	hāt ^h ī	ē hāt ^h ī
複数	ہاتھی	ہاتھیوں	اے ہاتھیو
	hāt ^h ī	hāt ^h īyōṅ	ē hāt ^h īyō

1. 2. 1 語尾が ī で終わる女性名詞

女性名詞に分類されるものの多くは、その主格単数形語尾が ī という音で終わります。

ここでは、لڑکی (larkī : 少女)、کرسی (kursī : 椅子) という語彙を例に、その変化を見てみましょう。

	主格	後置格	呼格
単数	لڑکی	لڑکی	اے لڑکی
	larkī	larkī	ē larkī
複数	لڑکیاں	لڑکیوں	اے لڑکیو
	larkiyāṅ	larkiyōṅ	ē larkiyō

	主格	後置格	呼格
单数	کرسی	کرسی	اے کرسی
	kursī	Kursī	ē kursī
複数	کرسیاں	کرسیوں	اے کرسیو
	kursiyāṅ	kursiyōṅ	ē kursiyō

1. 2. 2 語尾が ī 以外で終わる女性名詞

1. 2. 1に含まれない女性名詞は次のような語尾変化をします。ここでは、میز (mēz: 机)、ہوا (hawā : 空気) という語彙を例に、その変化を見てみましょう。

	主格	後置格	呼格
单数	میز	میز	اے میز
	mēz	mēz	ē mēz
複数	میزیں	میزوں	اے میزو
	mēzēṅ	mēzōṅ	ē mēzō

	主格	後置格	呼格
单数	ہوا	ہوا	اے ہوا
	hawā	hawā	ē hawā
複数	ہوائیں	ہواؤں	اے ہواؤ
	hawāēṅ	hawāōṅ	ē hawāō

代名詞

ここでは、ウルドゥー語の代名詞について説明します。

1. 人称代名詞

ウルドゥー語の人称代名詞は、1人称、2人称、3人称の3つに分かれ、それぞれに対して単数形と複数形があります。また、文中で主語になれる主格と、後ろに後置詞が来る場合の後置格とがあります。

主格(文中で主語になれる形です)

	単数	複数
一人称	میں main	ہم ham
二人称	تم tum	آپ āp
三人称	وہ vō	وہ vō

(注意)

1. 2人称単数には **تُو (tū)** という形もありますが、アッラーを指すなど、使える範囲が限られますので、ここでは省略します。
2. 上記の語彙に、性差はありません。男女ともに同形です。
3. **آپ (āp)** は相手が1人の場合にも用いられます。
4. 3人称の単数と複数と同じ形です。実際の文では、動詞が単数形か複数形かで、人称代名詞が単数か複数かを判断することができます。

後置詞ک (kā)、کی (kī)、کے (kē)が後に続く場合の形

	单数	複数	单数	複数	单数	複数
一人称	میرا mērā	ہمارا hamārā	میری mērī	ہماری hamārī	میرے mērē	ہمارے hamārē
二人称	تمہارا tum ^h ārā	آپ کا āp kā	تمہاری tum ^h ārī	آپ کی āp kī	تمہارے tum ^h ārē	آپ کے āp kē
三人称	اس کا us kā	ان کا un kā	اس کی us kī	ان کی un kī	اس کے us kē	ان کے un kē

上記以外の後置詞が後に続く場合の形

	单数	複数
一人称	مجھ muj ^h	ہم ham
二人称	تم tum	آپ āp
三人称	اس us	ان un

なお、後置詞(kō)が続く場合、以下の形も頻繁に用いられる。どちらが用いられても、差はない。

(muj^hē) مجھ کو مجھے (hamēṅ) ہم کو ہمیں

(tum^hēṅ) تم کو تمہیں

(usē) اس کو اسے (un^hēṅ) ان کو انہیں

後置詞^レ (nē)が後に続く場合のみ、次の表のように変化します。

	単数	複数
一人称	میں	ہم
二人称	تم	آپ
三人称	اس us	انھوں un ^h ōṅ

上記の表からわかるとおり、3人称以外は、主格と全く同じ形です。